

ギルドから依頼されている日課の見回りをしていた所、怪しい馬車を
見つけたので護衛を倒し中を確認。
どうやら亜人の娘を性奴隷として金持ちに
売るべく密輸していたっぽい。

馬車の様子からどうやら商いは終わって
帰る所だったようだ。
一人だけ居るこの娘は売れ残りかな

うわあ…
よりによってゴブリンか…

この娘はゴブリンにしてはスうっと
しすぎていたので
売れ残ってしまったのだろう
ゴブリンはロリっぽい方が人気がある。

俺を見てとっさに胸を隠したあたり、
恐らく人間と変わらないレベルの知能と
文化を持つ集落から拐かされてきたのだろう

ゴブリンは見かけ次第討伐する規則に
なってるので剣を抜こうとすると
物凄い勢いで命乞いされた。

かわいい声で色々喋ってたけど
言語が違うので何喋ってるかはわからなかった。
でも前世の初恋の人に激似だったので結局
殺さずに連れ帰ることにした。

(ゴブリンなのにめっちゃ
いい匂いする…
しかもおっぱい当たってる…)

わたしはウマ

帰宅し、とりあえず連れてきたけど
どうしよう…とか思ってたなら
メスゴブリンが服を脱ぎ始めた



ちょ！
な、何してんの！



メスゴブリンは
無言でこちらの
怒張した股間を
指さす



（やべ！
勃起してんのバシてた！）



（いやだって仕方ないじゃん
こちらら前世からの童貞だぞ？
ゴブリンとはいえいい匂いするし
おっぱい柔らかいし勃起しない
はずないじゃん！）

（っていうコレってつまり
セックスしようって
ことか？ いやでも違ってた
らどうしよう…っていうか
相手はゴブリンだしなあ…）



ぽふ

こっちが思い悩んでいるのを
よそに、メスゴブリンは
布団に横たわる。

はか

そして、閉じていた足を
ゆっくりと広げた

足を広げ、かすかに震えながら
一言も発することなく、目を閉じて
こちらのアクシヨンを待っている

これは童貞でもわかる、
間違いなくセックスの誘いだ

やべえ…生まんこ
めっちゃエロい…

緊張で息が荒くなってくる

くちゅ…♡

さっきまでの「ゴブリンだしなあ…」
とか言ってた自分は完全に消えて、
急いでスポンを脱いで柔らかそうな
まんこに必死になってちんぽを
あてがう

ドキ

ドキ

女性器を前に完全に
ただのオスになった俺は
自分の性器をあてがって挿れようとする

くちゅ…

くちゅ…

(中々入っていかねえ…)

入口が結構キツくて
何度も押し戻される

何度か入口で押し戻されるのを
繰り返して、ようやくマンコに
ちんぽが入っていく…

くちゅ…

血…?
お、お前…
処女だったのか…っ!

びりっ!!

ふふ

よっぽど痛かったのかメスゴブリンが
声を上げたが、そんなものに目もくれずに
必死になってピストンする

くちゅっ♡

くちゅっ♡

くちゅっ♡

前世でお世話になったどの
オナホより気持ち良い

はぁ

はぁ

少し苦しそうな表情で声を押し殺している
ゴブリンがあまりにも健気でエロかったので、
俺はゴブリンの体を強く抱きしめ、本能のままに
腰を振りまく、最後にはゴブリンの膣内に
一滴残らず精液をぶち撒けた

ぐちゅ!!

ぐちゅ!!

ぐちゅ!!

ぐちゅ!!
ぐちゅ!!
ぐちゅ!!

俺の精を受け止め軽く痙攣しているメスゴブリンの姿を見た時、
完全にガチ恋してしまった。

自分でもチョロいと思うが、さっきまで「ゴ布林だし…」とか
言ってた自分はどこか彼方に飛んでいって、今はこの
メスゴ布林が世界で一番可愛くて美人で愛しく思えた。

しゅ...

結局メスゴブリンはそのまま俺の「家性婦」になった。要するに家事とセックス担当って事だ。名前を聞いたらなんか凄く長かったので、略してヴィーと呼ぶことにした。



ヴィーは最初こそ怯えていたけど、自分が殺されることが無いと解ったのか今はリラックスしているようだ



結構頭のいいゴブリンらしく俺なんかよりはるかにテキパキと掃除洗濯料理までやってくれる。

慣れてきたのか最近よく声をかけてくる



言葉を覚えようとしているらしく、物を持ってくるので答えると何度も発音を真似して覚えようとしている。

あ、ニンジンだな



いいんでいん

ニンジン

にんでいん

ニンジン

にんでいん!

にんでいんにんでいん!

なんか凄く可愛かったからとりあえず一発抱いた



ぱん

マジで賢いし
可愛いし最高なんだが
気になる事が...

なぜかいつも下だけは丸出しなのである。
俺が指示したわけではなく、なぜか服を着たがらない。

どうやら、「いつでも私を使っていいですよ」
という事らしい

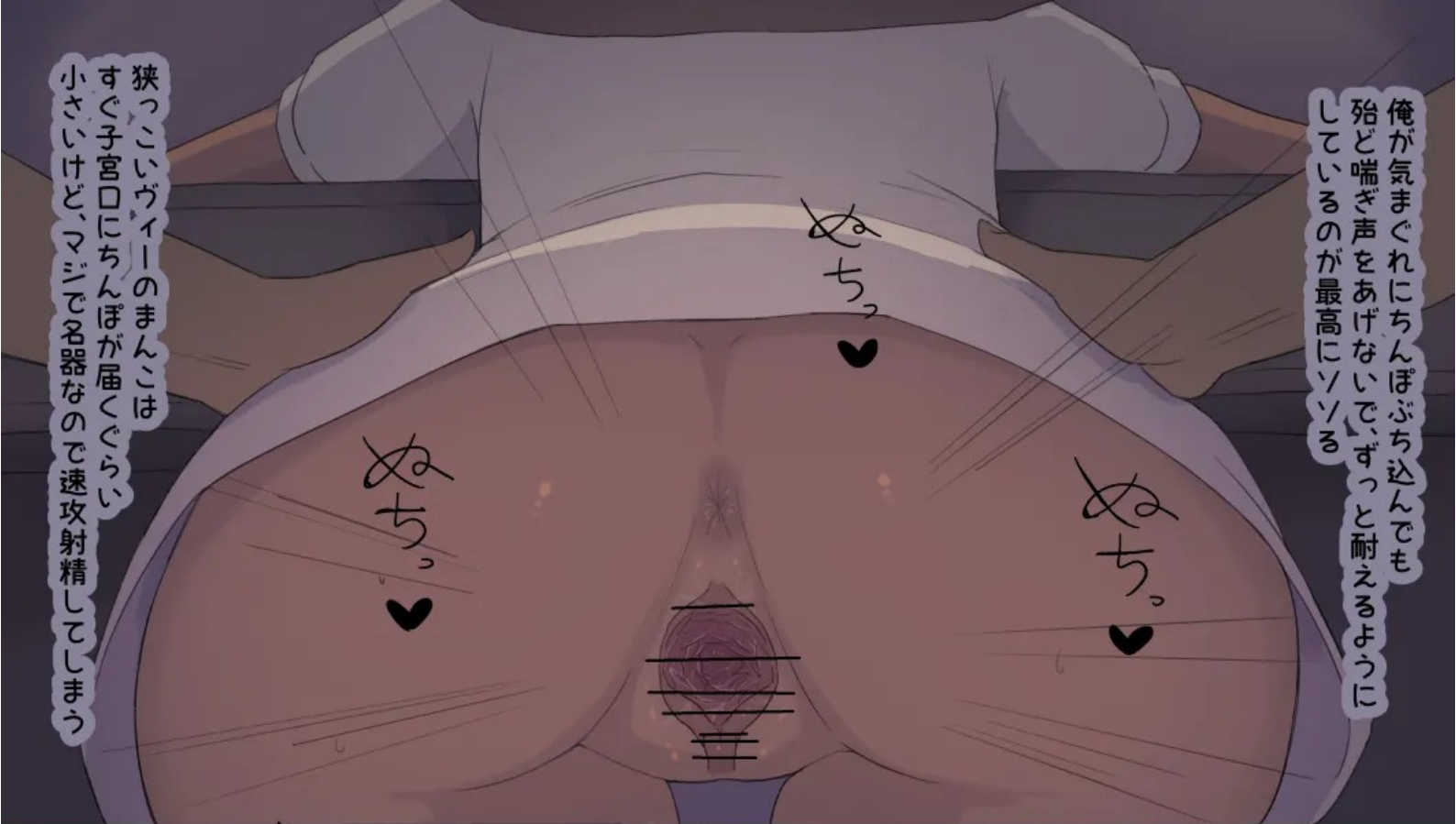
ゴブリンの文化なのかわかんけど
これはつい先日まで
童貞だった俺に死ぬほど刺さった

ヴィーが料理をしている時、洗濯をしている時、掃除をしている時、
花壇の手入れをしている時、どんな時でも俺はヴィーを犯した。

ぬ。ふ。ふ。...

俺が気まぐれにちんぽぶち込んでも
殆ど喘ぎ声をあげないで、ずっと耐えるように
しているのが最高にソソる

狭っこいヴィーのまんこは
すぐ子宮口にちんぽが届くぐらい
小さいけど、マジで名器なので速攻射精してしまう



そして遠慮なく一番奥で中出し…
軽く痙攣しているヴィーの体を絶対に逃げられないように
がっじりと掴んで種付けする。この征服感はやばい。

ヴィーが来てから作られた
精子全部ヴィーの口か
まんこに出してる。



当然夜は夜でセックスする。
慣れてきたのか、むしろ夜はヴィーの方が
積極的に求めてくる

大人しそうな顔してマジでエロい(流石ゴブリン)。
今は射精した後も抜かずにくっりとマンコキ
してもらって緩く膣内射精してるところ。

最近ヴィーとエロ遊びしながら気づいたら
寝てるからマンコからちんぽ抜いた記憶がない。
多分挿れたまま寝てる。

大人しくて物静かな癖にエッチだけは積極的
というドスケベギャップのせいで毎日金玉の
中すっからかんになる

多分速攻妊娠すると思
うけどとりあえず
100人ぐらい子供産ませたい

皆もメスゴブリンを
見つけたら殺さないで
家に連れ帰ったほうがいいぜ！

